

## 2月のお代官様～ゲメインシャフト

ドイツの社会学者、テンニースさんの理論で、社会はゲメインシャフトからゲゼルシャフトへと移行するなんて言います。はい、知識を見せびらかしていますが、そんな言葉知ってますか？



ゲメインシャフトとは、地縁、血縁、友情などから自然発生した共同体で、スポーツクラブとか文化サークルや、好きな事するために集まったグループなどで、居心地の良い場所を言います。ゲゼルシャフトとは、利益追求などを目的とした機能的集団で、典型として会社組織を言います。前者と後者は、性質からパーソナルとインパーソナル、関係から親密と打算、形成は自然的と人為的などで対比されます。

誰もがそんな共同体に属していると思いますが、私の場合、バドミントン、ラグビー観戦、地域活動などに居場所がありますが、ビリコという心地よいカフェも一つのゲメインシャフトとして数えることができます。



5年前にゲゼルシャフト(会社)が、梅田の芝田から中津のスカイビル付近にお引越し。美味しく楽しくランチできる場所を探して周辺を探検した結果発見したのが、このカフェ。豚さん鳥さんなどの素材を七色に仕上げた最強のランチ。優しい味、空間としても落ち着くし、ママさん優しいし、娘さんも可愛いけど、でっかい看板犬がレジの横でドカッと座っているのが怖くて、びびりながら会計を済ませていました。お食事するとカードにハンコ、10個たまるとコーヒー1杯サービスなんてシステムで、

夏休みのラジオ体操に通う気分で通い続けました。心地良い空間で昼休みをゆっくり過ごして、百回通った暁には、メッセージカード添えてお米をいただきました。お店のイベントにも顔出して、1カ月を通して皆勤した時は、折り紙で作った首飾りかけて貰いました。看板犬の「あおいちゃん」とも仲良しになれたのですが(この子以外の大型犬には、いまだに怖くて近づけません)寿命で、天使のワンコになってしまいました。



そんな悲しい出来事から、長期のお休み、プリントショップを併設しての再開などを経て、今年2月末日をもって閉店します。最近、ランチ営業はお預けで、お芝居や、音楽会、展示会などだけに開放していて、閉店は時間の問題と考えていましたが、ついに宣告が下された感じで、寂しい結果を待つのみです。



特に、月イチ開催の音楽会はビリコが好きな人が集まって盛り上がる素晴らしい空間で、私は演奏しませんが、楽しく心地よく見学させていただきました。ほんと、楽しくて愉快的な人ばかりで、まあ、ママさんがいい人だから、いい人ばかり集まるんだとは思いますが、場所につながるゲマインシャフトから、心でつながるゲマインシャフトにメタモルフォーゼしていくのでしょうか、見守っていきたいと思っています。

参考まで、ゲマインシャフトは、英語ではコミュニティー、日本語では共同体と訳すことができます。




平成30年2月7日記

Top  
トップ  
△

Back  
戻る

---

  
[3月のお代官様～土曜の夜はパラダイス](#)